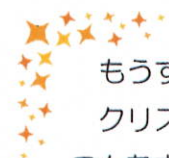


School Library

令和6年12月20日発行

担当：図書委員会2年生



もうすぐクリスマスですね。そして、もう少しで冬休みです。ワクワクしますね!!

クリスマスには皆さん何をお願いしますか?

こんな本欲しい! あんな本欲しい! なんて言う願い事があれば図書館にお任せください。

自分へのクリスマスプレゼントとして本を選んでみましょう!

冬休み貸出が 始まっています!

10日(火)から冬休み前につき、
10冊 貸出できます。
返却期限も、年明けの**1/15(水)**
までと、長めに設定しています。
ぜひご利用ください!



未返却の本はありませんか?

「督促票」をもらった人!!!

期限を過ぎた「延滞本」があると、返却
するまでは、新たに本を借りることが
できません。また、あなたが長く借りて
いることによって、読みたいくても
読めない人がいます。

必ず、期間内に返しましょう



私と読書

先生



「中高生からの親子で学ぶおかね入門」

「お金」の本って、、、なんだか下世話な本を紹介するんだな。と思われてしまうかもしれませんが。それもそのはず、日本では「お金」の話をすることは昔からタブーとされていました。その影響からか、金融リテラシー(お金の知識)は先進国の中でも最低ランクです。しかし、生きていくうえで「お金」は切っても切り離せない問題ですね。

例えば、大学生になって一人暮らしを始めたり、就職して仲間と遊びに行ったり、結婚式を挙げたり、家を買ったり、借ったり、子どもを育てたり、、、などなど。一生でどのくらいのお金が必要になるのかが示されています。

中学生の今は想像できない事ばかりかも知れませんが、どれもこれもたくさんのお金が必要になってくるのです。

この本は、「お金をたくさん稼ぎましょう。あなただけにその方法を教えますよ。」といった怪しい内容ではなく、「世の中のお金の仕組みを知り、上手にお金と向き合えるような知識」を紹介する本です。

「お金をいっぱい稼いだ人だけが税金って払うの?」

「最近のニュースで話題になっている103万の壁ってなに?」など
この本を読めばそんなお金のことが少し理解できると思います。
東原では、2月7日(金)に1,2年生対象の「金融に関する講演会」がありますので、「お金」について考えるきっかけになればいいですね。

(担当:)



『中高生からの親子
で学ぶおかね入門』
前野 彩 著
近日入荷予定

私と読書

先生



小学生の頃、電車で通う習い事がありました。乗車中、本を読むことが習慣になり、毎週新しい本を買うことが楽しみでした。その頃は、周りの友だちの中で山田悠介さんの小説が人気だったので、何冊か持っていました。当時の私にとって『特別法第001条 DUST(ダスト)』という本が衝撃的で、ふと思い出してはまた読んでみたいと思うことがあります。残念ながら小学生の時に買った本は、今はもう手元にありません。

中学校入学以降はほとんど本を読みませんでした。私の中学校の図書館は教室と同じ棟にありました。近いクラスだと教室から30歩程で図書館に行くことができました。ここだけの話ですよ。聞かなかったことにしてください。中学生の宮村は中学1年生の図書館ガイダンス以降、図書館を利用することはありませんでした。もし私の中学校に“バック”がやってきたら、倒すことはできなかったでしょう。

さて、最近朝読書をしていてよく思うことがあります。せわしない日々の中でも、穏やかに本を読む10分間がとても幸せだな...と。10分あれば1話読むことができる短編の話がいくつか掲載されている『英語でちょっといい話』という本です。気になる方がいたら教えてください。お貸します。

(担当:)



『特別法第001
条 DUST(ダスト)』
絶版



『英語でちょっ
といい話』
近日入荷予定

図書委員がオススメする本 《テーマ クリスマス》



角野 栄子 著
386 頁

この本はとても読みやすくクリスマスが来るのが楽しみにになります! クリスマスの歴史や祭りなどが書いてあり読んで僕たちもワクワクしてきて、サンタさんが来るのが非常にたのしみです! ぜひ読んでみてください!

(担当:)



佐々木 たづ 著
E 巻

僕が紹介する本は、子ウサギましろのお話です。この本は、本が苦手な人でもとても読みやすく、絵が大きく描かれています。そしてとても良いお話です。この本は、サンタクロースからもらったおかしを食べて喜んで、子ウサギのましろがうそをついて、またプレゼントがほしくなってもらいに行くお話です。ぜひ皆さん小さい頃を思い出しながら読んでみてください。

(担当:)



旬の暮らしを楽しむ会 著
590 頁

1年12カ月、その時期旬の食材、行事、レジャー、手土産、花、など400個の旬の楽しみを紹介。お金をかけずに、何も無い日を特別な日にする、「何する?」「どこいく?」「何食べる?」が見つかる1冊です。もちろんその中には、クリスマスを彩る食べ物、お花、レジャーがいっぱい詰まっています。

(担当:)



ケイト・ミルフォード 著
近日入荷予定

私が今回紹介する本は「雪の夜は小さなホテルでぞ解き」です。この本は、12歳のマイロの両親が営む小さなホテル「緑色のガラスの家」に奇妙な5人の客が泊りに来るところから始まります。彼らはほかの客がいることに驚き、怪しい言動をします。マイロはその5人の奇妙な客の誰かが落とした海図を手掛かりに客の目的を探ることに。クリスマスに近づく冬休み、マイロはこの謎を解くことができるのか。最近、寒くなってきました。心あたたまる聖夜のミステリーを読んでみては?

(担当:)